



# 近年、日本人女性の 9人に1人が乳がんにかかると言われています。<sup>※1</sup>

もう他人事とは思えない! 乳がんは女性が一生のうちで1番かかりやすいがんです。

## 乳がんは40～60代女性の がん死亡原因ナンバーワン<sup>※2</sup>

日本では、年間1万5千人以上の女性が乳がんで亡くなっています。40～60代はとくに乳がんにかかりやすい年齢です。

SAMPLE

誰がなってもおかしくないですよ

セルフチェックだと遅いかも...



## ご自身では 見つからないケースがたくさんある

乳がんはご自身では見つけることが難しく、早期発見のためにはマンモグラフィによる検査を定期的に受けることが大切です。

SAMPLE

※1 出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録）2020年全国集計値

※2 出典：人口動態統計（2023年）

# マンモグラフィは こんな検査です。

乳がん検診のマンモグラフィっていったいなにをするのか、不安に思いませんか。

実際にどんな検査なのかを知っておけば、検診に行く時も安心!

## マンモグラフィは、 いわゆるおっぱいの レントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる、おっぱいのレントゲンです。プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んで上からレントゲンを撮ります。



5秒くらい、じっとして...  
撮影終了!

## 1cm以下のがんも見つけられる 優れた画像検査法

マンモグラフィは、乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査法で、早期の乳がんの検出に有用です。

検診で「異常あり」となった場合は  
その後必ず精密検査を受けてください。<sup>※3</sup>

精密検査はマンモグラフィの追加撮影、超音波検査、細胞診、組織診などで、これらを組み合わせて行います。

※3 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。

このリーフレットは、がん検診受診率向上＜希望の虹プロジェクト＞が作成しました。

# 早期のがん<sup>※4</sup>の段階で 治療すれば、 95%以上が治ります。<sup>※5</sup>

正しい知識を持って、専門の先生と一緒に定期的にチェックしていくことが大切です。

## 生存率

I期(早期がん)

99.0%

IV期(進行がん)

40.5%

SAMPLE

乳がん検診は2年に1度  
必ず受診してください

多くのがんは、2年に1度の検診で早期発見できます。ただし、中には急激に大きくなるものもあるため、乳房の状態を日ごろから意識し、変化がないかを確認するようにしましょう。しこり、乳房のひきつれ、乳頭から血性の液がでる、乳頭の湿疹やただれなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。



※4 ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類（TNM分類）におけるI期を意味します。（IV期に近いほどがんが進行している状態です）

※5 ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。出典：2014-2015 年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)